

ギャンブル依存症チェックシート

これまで、ギャンブル依存症のスクリーニングに使われていたのは、「SOGS（South Oaks Gambling Screen）」やアメリカ精神医学会の診断基準（DSM）ですが、質問数が多く手間がかかるなどの問題がありました。

そこで、誰にでも手軽にできて、問題の早期発見に役立つスクリーニングテストとして日本で開発されたのが「LOST」です。

1. ギャンブルをするときには予算や時間の制限を決めない、決めても守れない
(Limitless)
2. ギャンブルに勝ったときに『次のギャンブルに使おう』と考える (Once again)
3. ギャンブルをしたことを誰かに隠す (Secret)
4. ギャンブルに負けたときにすぐに取り返したいと思う (Take money back)

* 2 つ以上あてはまったら、ギャンブル依存症の可能性あります。一人で悩まずに、是非お気軽にご相談下さい（相談無料。匿名も可能）。

このスクリーニングテストは、ギャンブル依存症問題を考える会（代表・田中紀子）、国立精神・神経医療研究センターの松本俊彦医師、筑波大学医学医療系の森田展彰准教授らの調査研究で開発されました（各質問項目の頭文字をとり「LOST」です）。

若者への啓発・予防・早期発見のため、NTT データとのコラボで LINE アプリのサービスも始まっています。
(特定非営利活動法人 ASK より)

【ギャンブル依存の相談窓口】

LINE での相談は、LINE 内検索で @izon または marudayowakka と入力。

お電話での相談は、

一般社団法人かずあるかたち 0282-28-8668 ASK 認定依存症予防教育アドバイザー 野添 透
一般社団法人ひごのいえ 0964-41-2387 ASK 認定依存症予防教育アドバイザー 栃原晋太郎

一般社団法人かずあるかたち ・ 一般社団法人ひごのいえ
協力：一般社団法人宇都宮市医師会 社会支援部